



公共交通かわら版

民間路線バス

1 運行見直し基準

「拡大」の基準… 1便あたり利用者数
10.0人以上 かつ
収支率 80%以上

「縮小」の基準… 1便あたり利用者数
2.0人未満 かつ
収支率 20%未満

※市域をまたぐ路線の1便あたり利用者数
については、市内区間の実績を参考とする。

「縮小」に該当 …

2 運行実績と判定結果

事業者	路線名	年間1便あたり利用者数(人/便)	収支率(%)	乗降調査による市内区間の1便あたり利用者数(人/便)
井笠バス.C	笠岡～井原線	15.2	76.6	11.5
井笠バス.C	井原～福山線	10.9	47.4	4.8
北振バス	井原～共和・弥高山入口線	2.3	28.8	-
北振バス	井原～山野下市・山野田原線	2.1	14.1	2.1
北振バス	井原～佐屋線	2.1	39.2	-
北振バス	井原～美星支所・黒萩・宇戸谷線	1.7	14.8	-
北振バス	矢掛～美星産直プラザ・平谷線	2.2	20.2	1.8

井原あいあいバス

1 運行見直し基準

「拡大」の基準… 1便あたり利用者数
10.0人以上

「縮小」の基準… 1便あたり利用者数
3.0人未満

※芳井・美星地区の井原あいあいバスについては、スクールバスの間合い運用であり、ダイヤに制約があるため、弾力的に対応する。

2 運行実績と判定結果

※色が付いている路線は「縮小」に該当

地区名	路線名	年間1便あたり利用者数(人/便)
井原	嫁いらす観音線	6.3
	馬越恭平線	6.5
	北条早雲線	2.9
	野上線	3.4
	ぶどうの里線	5.3
	子守唄の里線	2.9
芳井	天神峡線	1.9
	ごんぼう村線	2.8
美星	黒木・星田線	0.2
	黒萩・八日市線	0.4
	鬼ヶ嶽線	0.5

予約型乗合タクシー

1 運行見直し基準

「拡大」の基準… 1便あたり利用者数 4.1人以上 かつ 年間運行回数
200回以上

「縮小」の基準… 1便あたり利用者数 1.1人未満 かつ 年間運行回数
100回未満

2 運行実績と判定結果

※色が付いている路線は「縮小」に該当

地区名	運行区域名	年間1便あたり利用者数(人/便)	年間運行回数(回/年)
井原	高屋北部	1.4	161
	上稲木	1.0	111
	高月	1.8	25
	門田	1.3	72
	野上北部	1.3	153
	荏原・西江原	-	-
芳井	天神山・上野・西吉井	1.0	23
	高原・高瀬	1.0	13
	峠村・野畑	-	-
	共和下・川相	-	-
美星	六部落・水名	1.0	7

この運行見直し基準は、基準に該当する路線を直ちに減便するということではなく、あくまで、井原市公共交通会議で拡大・縮小するかどうかの検討を行う目安とするためのものです。

将来に渡って路線を維持していくため、少しでもバスを利用してみませんか？

平成30年度の民間路線バス・井原あいあいバス・予約型乗合タクシーの運行実績をお知らせします。
(集計対象期間：平成29年10月1日～平成30年9月30日)

■平成30年度バス・予約型乗合タクシー運行実績のお知らせ■

「井原市地域公共交通網形成計画」に基づく事業実施報告

※「目標値」は、平成32年度の達成を目指す値です。

全体的な計画の モニタリング	公共交通の利用者数	方法	・民間路線バス乗降調査 ・井原あいあいバス・予約型乗合タクシーの利用実績
目標値	381千人	今年度	367千人
今年度の値は平成29年10月～平成30年9月の実績。 ※平成28年10月～平成29年9月の実績は374千人			
方針1-1	「公共交通てくてくエリア」の人口割合	方法	国勢調査を基に市が算出
目標値	100%	今年度	92.5%
最寄りの駅またはバス停から半径400mの範囲内（または予約型乗合タクシーの運行区域）で、公共交通を利用して週に2回は市の中心部に移動できるエリアを「公共交通てくてくエリア」と定義しています。			
予約型乗合タクシー（花野エリア、水名・六部落エリア）の運行により計画策定時の現状値（H22年国勢調査）の90%から上昇			
方針1-2	市内中心部まで公共交通を利用して60分以内に 移動できる集落の割合	方法	国勢調査を基に市が算出
目標値	80%	今年度	69%
予約型乗合タクシー（花野エリア、水名・六部落エリア）の運行により 計画策定時の現状値（H25年時点）の67%から上昇			
方針1-3	都市拠点の交通結節点における交流スペース等の利用回数	方法	交通事業者への聞き取り
目標値	60回/年	今年度	117回/年
井原駅：71回、井原バスセンター：46回 公共交通かわら版において、利用の呼び掛けを実施。			
方針2-1	交通結節点等における利用環境の改善状況	方法	交通事業者への聞き取り
目標値	整備箇所 5件 (1件/年)	今年度	2件
バス車両の乗降口に電動補助ステップを設置 芳井地区を運行している井原あいあいバスの車両（2台）に導入			
方針2-2	公共交通かわら版の発行回数	方法	発行の都度、市が実績を把握
目標値	6回/年	今年度	6回/年
公共交通かわら版を6回発行 (6月、7月、9月、11月、2月、3月に発行)			
方針2-3	バスの乗務員の接遇に不満を感じる人の割合	方法	バス利用者アンケート調査
目標値	10%以下	今年度	4.9%
井原バスセンター及び井原市民病院においてバス利用者アンケート調査 を実施（うち満足とを感じる人の割合は22.0%）			
方針3-1	バス体験学習会の参加者のうち、年度内に バスに乗った生徒数の割合	方法	バス体験学習会参加者への事後アンケート調査
目標値	75%	今年度	41%
バス体験学習会を9箇所開催			
方針3-2	バス停サポーター制度の導入箇所数	方法	導入の都度、市が実績を把握
目標値	15箇所 (3箇所×5年)	今年度	3箇所
井原市民会館、高屋児童会館、井原市グランドゴルフ場で導入			
方針3-3	住民説明会や意見交換会の開催回数	方法	開催の都度、市が実績を把握
目標値	3回/年	今年度	3回
七日市町花野地区において、予約型乗合タクシーの導入に関する説明会 を開催			